

演習Ⅱ

担当者 西嶋 淳

開講時期 通年

単 位 8

●講義の概要

研究テーマに即して、実地調査、実証分析の実践や関連先行研究についての批判的検討などを行いながら、修士論文作成のための個別指導を行います。

●講義の到達目標

地域政策学分野の修士論文を作成するために必要とされる基本的な研究能力を習得するとともに、質向上に寄与するように経済分析手法を活用できるようになる。社会、経済事象に関する問題点について適切に論述できるようになる。これらにより、学術研究として一定の水準をもつ修士論文を完成させることを目標とします。

●講義計画

- 第1回 「演習Ⅱ」の進め方及び研究計画の確認
- 第2～3回 修士論文構成案の作成
- 第4～6回 先行研究のレビューとディスカッション
- 第7～12回 事例調査・分析の経過報告とディスカッション
- 第13～15回 修士論文中間報告案の作成
- 第16～18回 修士論文中間報告の準備
- 第19～28回 修士論文の執筆状況の確認
- 第29回 修士論文の研究内容の再確認
- 第30回 「演習Ⅱ」の総括

●成績評価基準と方法

① 評価方法

報告・発表（30％）、討論および修士論文（70％）により評価します。

② 評価基準

- ・地域政策学分野の修士論文を作成するために必要とされる基本的な研究能力を習得しているか。
- ・修士論文の質向上に寄与するように経済分析手法を活用しているか。
- ・社会、経済事象に関する問題点について適切に論述しているか。
- ・地域政策学分野の学術研究として一定の水準をもつ修士論文を執筆しているか。

●テキスト又は参考文献

－テキスト－

使用しません。

－参考文献－

講義中に適宜指示します。

●受講上の留意点

- ・指示に従い、講義時に円滑に報告ができるようレジюме等を準備して下さい。
- ・関連分野の学会・研究発表会への参加など、積極的な取り組みを希望します。